

Weekly Report

ROTARY CLUB OF KONAN

2022-23



イマジン
ロータリー

創 立 / 1965年6月25日
例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
会 場 / 江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金1-12
0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
TEL / 0587-55-6554
FAX / 0587-59-7720
URL / <http://www.kouan-rc.com/>
Mail / kouanrc@beach.ocn.ne.jp
会長 / 冨永典夫 幹事 / 岩田進市 会報委員長 / 北畑祐三



2022年(令和4年) 8月 4日(木) 雨 第2735回(当年度第4回)例会

点 鐘
司 会
国歌斉唱
ロータリーソング斉唱
四つのテスト唱和

副会長 南村 朋幸君
SAA 片平 博己君
「君が代」
「奉仕の理想」
駒田 洋平君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及ビジター紹介



米山奨学生 タンヤピシット・シタン君
ようこそ江南ロータリークラブへ！

会長挨拶



代読 副会長 南村 朋幸君

大変な猛暑の中、皆様方にはコロナと熱中症対策など体調を気遣いながらの生活を余儀なくされていると思います。元気に乗り越えましょう。と話させて頂く予定でしたが、我社の従業員がコロナに罹り念のため欠席させていただく事になりましたので大変面目ありません。

本日は、地区出向者紹介であります。

地区とは、管理の便宜上結び付けられた、一定の地理的な地域内にあるロータリークラブのグループです。地区の活動と組織は、個々のクラブがロータリーの目的を推進するのを助けることを唯一の目的としています。したがって、逆に、クラブや個々のロータリアンが提供する奉仕を減殺することがあってはならないと、ロータリー章典に定められています(ロータリー章典17.010.1.)。

地区には委員会が設けられ、ガバナーが策定した地区目標を実行する責任を負います。ガバナー・エレクトは、任期が始まる前に委員会の空席を補填するために委員を任命し、委員長を任命します。

現在の管理運営機能を受け持つために、拡大増強、財務、地区プログラム(青少年交換、ローターアクトなど)、広報、地区大会、ロータリー財団、RI国際大会推進、地区研修などの委員会委員が任命されます。また、ガバナーと地区指導者チームが必要と認めた特別の任務を遂行する場合には、追加の地区委員会が任命されることになっています。

各ロータリークラブより様々な委員会に出向されますが出向された方々により地区を支え、その経験がクラブの宝になります。私も地区に出向したことがございましたが大変いい経験をさせていただきました。本年度出向される皆さんの御活躍を祈ります。出向したことのない方も、もし興味ございましたらお知らせください。

本日は以上です。

米山奨学金授与



タンヤピシット・シタン君

- ロータリー財団地域コーディネーター補佐
- 地区諮問委員会
- 地区指名委員会
- 地区研修リーダー
- 防災対策委員会
- 研修委員会
- ロータリー財団監査委員会
- 拡大委員会
- 地区研修・協議会企画委員会
- WFF実行委員会

幹事報告 -別紙-

幹事 岩田 進市君

出席報告

委員長 波多野 智章君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
46名	29名	17名	69.05%

ニコボックス

委員 枚本 哲一君

○富永年度 地区出向者紹介 よろしくお願ひします！
米山奨学金タンヤピシット・シタン様ようこそ江南ロータリークラブへ

富永 典夫、南村 朋幸、岩田 進市、駒田 洋平

各君

○加藤さん、先日はお心遣いありがとうございました

倉知 正憲君

○本日、地区出向者紹介させていただきます。

片平 博己君

○本日、地区出向者 防災対策委員会報告させていただきます。

枚本 哲一君

富永年度 地区出向者紹介 よろしくお願ひします！

**松岡 一成、沢田 昌久、岩田 静夫、長瀬 晴義、
富田 清孝**

各君

卓 話



地区出向者紹介 地区社会奉仕委員会 片平博己君

本年度も、地区社会奉仕委員会に出向しております。3年目なのですが、この2年間は、本格的な活動はしていなかったのので、改めて新鮮な気持ちで取り組んでいきたいと思ひます。

先日、本年度第1回地区社会奉仕委員会が行われました。

委員長は、名古屋葵 RC の加藤久雄さんという方で、とても気さくな方です。委員会は、3つの小グループに分かれており、社会奉仕グループ、環境保全グループ、RCC グループがあり、それぞれに副委員長がリーダーとなっています。

地区社会奉仕委員会の役割は、地区内の各クラブが社会奉仕関連活動を進めるにあたり、その活動がしやすいようにサポートするのが主たる役割です。また、箆橋ガバナーからは、「とかく RC は国際奉仕が花形のように言われるが、地域社会の問題とニーズにこたえていくことも重要であり、是非その牽引車となってほしい」との激励の言葉をいただきました。また、昨年から地区の重点分野に「環境」が新設され、委員会から SDGs をベースにした環境問題への取り組みや発信をしていくこととなります。

RCC については、当クラブではあまりなじみがないというか、全く知らない方も多ひと思ひますが、加藤委員長が RCC 畑の方なので、詳しく聞いてまた皆さんにお伝えしていこうと思ひます。さらっと申し上げますと、RCC は、「Rotary Community Corps」「ロータリー地域社会共同体」と呼ばれており、世界では 11000 以上、地区内に 17 団体結成されています。ロータリーがスポンサーとなり、ロータリアンと協力することに関心のある人と協力して、より良い地域社会を作ることを目指して活動していくグループです。当クラブの最近の社会奉仕活動は地元のボランティア団体と協力

しての事業もありましたので、継続発展させていくには RCC が一つの方法ではないかとも思います。いずれにしても地区出向では学ぶことも多く、また、懇親会はとても楽しいです。できるだけ多くのつながりの中から江南 RC に活かせるものを持ち帰り、クラブに貢献できるよう努力してまいりますので、よろしく願います。



防災対策委員会 杵本 哲一君

本防災対策委員会には 準備委員会時から所属しております私、杵本と 副委員長を務める南村君と両名が出向しています。

本委員会は 委員長と副委員長が毎年「愛知県 防災安全局防災部 防災危機管理課」及び「あいち防災協働社会推進協議会」に赴き 国際ロータリー第2760地区と結んだ協定の確認、情報収集、地区としての取組、県関連事業等への協力・参加を調整してきております。

委員会自体は4回/年行われ、正式な委員会の立上げから2年目と 地区内で最も新しい委員会でもある為、地区内8分区から1名毎出向して頂いておりますが、防災啓蒙及び委員会の認知を最優先し 略、単年で略総入れ替え方針を取っております。

5月26日(木)16:00~17:30第1回新旧合同防災対策委員会が アドバイザーに神野重行 P.G.を迎え ガバナー事務所会議室で行われました。

この要旨は以下の3点です。

- 1) 鳩山佳江(一宮北 RC/FM いちのみや代表取締役社長)氏による模範卓話。これは昨年度、「まずは地震発生メカニズムを理解し、正常性バイアスから抽出し、正しく恐れよう」をテーマに 旧各位委員に所属分区内要請クラブに卓話に出かけていただいた感想と反省点と共有し、新各委員への準備(模範)として行われたものです。
- 2) 新委員自己紹介
本年度も地区内8分区から1名毎出向して頂いておりますが 防災士取得済の委員もいらっしゃいますので 委員会活動に幅が出てきそうです。
- 3) 旧委員の卓話報告及び模範卓話を受けて意見交換、防災啓蒙卓話に赴いた時の注意事項、時間管理、反省点、改善提案等を全員でディスカッションし共有しました。

次回、11月17日(木)16:00~17:30第2回 防災対策委員会が予定されております。それまでには 今年も

コロナ下、不確定ですが、県防災訓練等への参加要請が届く事になりそうです。



地区財務委員会 委員長

地区防災委員会 副委員長 副委員長南村 朋幸君

さて、またもや地区出向者の卓話のお時間がやってきました。つい先々に地区出向者報告として一年を振りかえってお話をさせて頂きましたが、また改めてではありますが、昨年と同様、地区財務委員会と地区防災対策委員会の二つに出向をしております南村でございます。いずれの委員会も地区幹事をさせて頂いた時の“おつり”みたいなもので、必然的に有無を言わず“くっ付いて来る”ものでございます。

まず、地区財務委員会については、委員会構成メンバーの総勢3人すべて歴代の地区幹事で構成されています。当該の地区幹事が終わられた翌年から順繰りで職が回ってきますので、本年度わたくしは委員長としての役回りになります。したがって押し出し鉛筆のように委員長としての任が終われば無罪放免、地区財務委員会としてのお役目は終了でございますので、最後のご奉公と思ひながら務めてまいりたいと思っています。

また一方の防災対策委員会では、副委員長を今年も仰せつかっており、昨年同様委員会の段取り等をお任せ頂いております。活動内容については杵本さんからお話し頂いた通りでございます。

ところで2019-20年度に伊藤ガバナーのもと、私は右も左も分からないまま地区幹事を務めさせて頂きました。よく人から大変な職責だったね、と労をねぎらうお言葉をたくさん掛けて頂きます。確かに脈々と受け継がれてきた2760地区という伝統を継承し、地区内85クラブ約4800人のロータリアンを擁する組織を切り盛りする、と言えば言葉面だけ捉えればとても大変に見えます。ある先輩からガバナーを“大統領”と例えるならば、地区幹事は“首相”みたいなものだ、とも言われ、とても重責だったのはその通りだったかも知れません。時に運営サイドでの決断を迫られたり、ガバナーの防波堤代わりにご意見を頂戴したりなどと精神的な重圧は常に感じておりましたが、実は何を隠そう、膨大な資料を作成するという、いわゆる事務作業に関しては私は殆どやっていなかったのです。莫大な数の各クラブへのレターや案内状、ガバナー補佐や委員長との調整、RI日本事務局との往復のやり取りなど、DCSの導入で

幾分か簡素化されたとは言うものの、それでもたくさんある事務作業については、地区専属の事務局員方々がいてくれたお陰で、それら作業からは私は殆ど開放されていました。永田君が当時事務長として、特に会議資料の作成も携わってくれていたのも、これも私が煩雑な事務作業から解放された理由の一つでもあると思います。

さて、ここからが本題です。

実はこの“地区幹事”時代とは違い、委員会の運営に関しては地区の事務局は一切手出しできず、基本的には全ての事務段取りを自前で整えていくのです。特に防災対策委員会では、その任を副委員長が担っているため、DCSを使っての案内状の発送、委員会会議資料の作成、卓話依頼があった各クラブとの日程調整や卓話担当者の割振りなど、事務作業及び調整などは“地区幹事”時代より煩雑さを極めており、事務作業の大変さを改めて痛感しているところでございます。もちろん昔のよしみで事務局の方に若干手伝って頂くこともありますが、こちらはこちらで中々の重責に地区幹事とは違った汗をかいている次第です。

このように、かつての地区事務局の有難みを痛切に感じながら、やはり人間幾つになっても学ばさせて頂くことは幾らでもあるのだという事をしみじみと感じ入り、地区・クラブ問わず事務局員さんは大切にしていこうと誓う今日この頃でございました。

地区出向、頑張ってます。皆様のご支援、よろしくお願ひ申し上げます。

点 鐘

副会長 南村 朋幸君

本日の食事



委員会報告

会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は

アカウントを作成してください。

※アカウントがある方は

ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら

写真等がございましたら会報までお知らせください

(担当 佐藤 弘夫 北畑 祐二)